

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	キャリア基礎		
担当者(Instructors)	梶田 政人	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)			
<p>3年時から本格的に始まる就職活動向け、基礎的な能力を高めるための授業です。1年時に基本をしっかり理解し、次年度以降への基礎学力固めを行います。特に企業の採用選考の中で多く用いられる「SPI3」について、実際の問題を解いていただくことで理解を深めます。授業終了後も継続的に取り組むことができるよう、目標設定に対するプランニングにも取り組みます。</p>			

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	この講義は主に企業の適性検査で多く用いられる「SPI3」の試験を中心に講義・演習を交えて実施します。最低限のマナーとして、講義中の私語、携帯端末の無断利用、入退室は原則禁止します。筆記試験は講義で習ったことを中心に中間、期末の2度実施します。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション (プランニング) 非言語分野1 言語分野1 (非言語では損益算、言語では反意語について学ぶ)	授業の取り組み方と内容の確認、採用選考の筆記試験の概要を学びます 非言語分野 (損益算) 言語分野 (反意語)	□
第2回	非言語分野2 言語分野2 (非言語では料金の割引など、言語では同意語について学ぶ)	非言語分野 (料金の割引、割合) 言語分野 (同意語)	□
第3回	非言語分野3 言語分野3 (非言語では濃度、言語では同音異義語について学ぶ)	非言語分野 (濃度) 言語分野 (同音異義語)	□
第4回	非言語分野4 言語分野4 (非言語では分割払いなど、言語では外来語などについて学ぶ)	非言語分野 (分割払い、物の流れと比率) 言語分野 (外来語、難解な語句)	□
第5回	非言語分野5 言語分野5 (非言語では場合の数など、言語では四字熟語などについて学ぶ)	非言語分野 (場合の数・確率) 言語分野 (四字熟語、古事成語)	□
第6回	非言語分野6 言語分野6 (非言語では集合など、言語ではことわざなどについて学ぶ)	非言語分野 (集合、速さ1) 言語分野 (ことわざ、二語の関係・語句と意味の対応①)	□
第7回	非言語分野7 言語分野7 (非言語では速さ、言語では二語の関係・語句と意味の対応について学ぶ)	非言語分野 (速さ2) 言語分野 (二語の関係・語句と意味の対応②、③)	□
第8回	非言語分野8 言語分野8 (非言語では代金の精算など、言語では二語の関係・語句と意味の対応について学ぶ)	非言語分野 (代金の精算、ブラックボックス) 言語分野 (二語の関係・語句と意味の対応④、⑤)	□
第9回	中間テスト (9)、テスト解説	1～8回目までの範囲から出題	□
第10回	非言語分野10 言語分野10 (非言語では不等式と領域など、言語では熟語の成り立ちについて学ぶ)	非言語分野 (不等式と領域、年齢算) 言語分野 (熟語の成り立ち)	□
第11回	非言語分野11 言語分野11 (非言語では推論、暗号、言語では文章のつながりについて学ぶ)	非言語分野 (整数、推論 (命題・論理)) 言語分野 (文章のつながり)	□

第12回	非言語分野12 言語分野12 (非言語では推論など、暗号、言語では敬語について学ぶ)	非言語分野 (推論 (推理)、資料の読み取り) 言語分野 (敬語①、②)	<input type="checkbox"/>
第13回	非言語分野13 言語分野13 (非言語では空欄推測など、言語では複数の意味、現代文読解について学ぶ)	非言語分野 (空欄推測、四則演算、正多面体) 言語分野 (複数の意味、現代文読解①)	<input type="checkbox"/>
第14回	非言語分野14 言語分野14 (非言語では立方体の積み上げなど、言語では現代文読解について学ぶ)	非言語分野 (立方体の積み上げ、サイコロ) 言語分野 (現代文読解②)	<input type="checkbox"/>
第15回	振り返り 非言語分野15 言語分野15 (非言語ではその他の図形問題など、言語では現代文読解について学ぶ)	非言語分野 (その他の図形問題、暗号) 言語分野 (現代文読解③)	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習 (予習・復習) の内容(Preparation/review details)

事前学習：不要 事後学習：習った内容の復習、特に間違った問題、苦手な問題について復習すること (4時間程度)

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

中間試験について：解答解説を行います。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2019全学共通DP3	自己の能力開発のため、最初に目標設定と実行プランをプランニングし、半期を取り組む。 目標に対して実行する主体性を養う。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
50%			50%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

中間テストが50点、期末考査が50点の合計100点満点です。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	SPI3 言語・非言語分野については授業内で指定いたします	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		